

9月21日は世界アルツハイマーデーです



毎年9月21日は「世界アルツハイマーデー」と制定され、全国でこの日を中心に認知症の啓蒙活動を実施しています。私たちは認知症の理解を深め正しい知識を学び介護家族と本人への支援を考え、認知症になっても安心して暮らせる社会づくりを目指しています。そこで私たちと同じ認知症になっても暮らしやすい社会づくりに携わる個人・団体・企業様と、一般の方々に各種の活動を体験することにより認知症への関心を持っていただき、さらなる理解を深める機会を設けたところ、家族連れからご年配の方々まで幅広い世代の参加をいただき楽しんでいただきました。

2019 世界アルツハイマーデー記念講演会 令和元年度 鹿児島県認知症ケア専門士会 第3回単位認定研修報告

ペコロスの母に会いに行く
＝認知症の母と生きた時間＝
長崎県在住の漫画家
岡野 雄一先生



認知症サポーター養成講座
キャラバン・メイト 認知症ケア専門士
吉原 武史氏・永留 静香氏

今回は「ペコロスの母」シリーズで有名な漫画家 岡野雄一先生をお招きし、講演をしていただきました。前半は認知症になった母、光江さんを故郷長崎で介護した経験を自身の作品を通してユーモアを交えながら紹介。後半は自作の歌を弾き語り披露。生きていればどうにでもなるというテーマで描かれた『どんげんでんなる』をはじめ4曲を歌っていただきました。心温まるエピソードと力強い歌声に「心に染み入る講演だった」と感想をいただきました。

第2部は認知症ケア専門士会のキャラバンメイトがサポーター養成講座の講師役をつとめ、「認知症サポーター」を養成講座を開催しました。当日はアルツハイマーデーのイベント開催もあり、一般参加者が多数いらっしゃって下さいました。この機会に一般参加の方々と共に認知症について学び、認知症ケア専門士のことを知っていただける機会を作れたらと企画しました。参加者の方からも「認知症について勉強できたし、専門士の活動についてもっと知りたくなった」などのお声をいただきました。